

**事例発表会「未来へつなぐ2019」を3会場で開催
転換防止から燃転、ZEHなど10事例・16発表**

三愛石油（株）ガス事業部門では、基本方針「TAKE ACTION 2019」のもと、地域で“頼りになる存在”となるため、4つの重点施策を掲げて特約店様とともに取り組んでいます。その一環として、9年目となる事例発表会「未来へつなぐ2019」が全国3会場で開かれました。

事例発表会は、特約店様と三愛オブリガス各社が日々の提案営業で実現した成功事例を、グループ内で広く共有し実践していただく目的で実施しています。今年は11月13日に中国エリア、18日に東日本エリア、21日に九州エリアで開催し、転換防止からリフォーム、燃転、プラスワン提案、ZEH、レンタル、LPWA導入などまで、各会場5～6事例、計10事例・16発表が行われました。東日本と九州会場では消費者志向、エネルギー市場動向に関する各講演もありました。

総評に立った大久保宏次取締役ガス事業部長は、「LPガス販売はお客様と接点を持ちやすいことが強みであり、発表事例はいずれもその強みを生かして成約に結びつけている点で共通しています。お客様との関係性をさらに強化し、お困りごとを解決していけば、私たちはまだまだ存在価値を高めることができます」（九州会場）と述べ、今後いっそう接点の強化に取り組むよう呼びかけました。

発表者と事例テーマ		
会社名	発表者 (敬称略)	タイトル
三愛オブリガス東日本株式会社 東海支店 直販課 浜松営業所	河野 大輔	組織的転換抑止のすすめ
三愛オブリガス中国株式会社 広島支店 直販課 広島営業所	妹尾 俊亮	でんきの提案からリフォーム獲得
有限会社 共栄商事	金澤 守真	TAKE ACTION! ～燃転は待っていても始まらない～
三愛オブリガス九州株式会社 東九州支店 直販課 福岡営業所	矢野 晋平	料金メニュー推進による切替阻止
三愛オブリガス中国株式会社 岡山支店 直販課 岡山営業所	織田 浩範	EHP化のピンチを乗り越えて
三愛オブリガス九州株式会社 東九州支店 直販課 福岡営業所	重石 奈穂子	ZEHによるガス化住宅について
三愛オブリガス東日本株式会社 栃木支店 直販課 大田原営業所	若林 光	顧客管理リストからのプラスワン提案と 常に心にある想い
株式会社 本間燃器設備工業 三愛オブリガス東日本株式会社 北関東支店 卸売一課	本間 成一 濱口 隼也	新築物件へのハブリット給湯器導入事例
有限会社 原田プロパン 三愛オブリガス九州株式会社 筑後卸売課	原田 昌治 和田 竜聖	衣類乾燥機1週間レンタル作戦 ～みんなに乾燥機の良さを知ってもらおう～
合同ガス株式会社	宇和川 雅穂	LPWA導入による業務改革の推進
〔講 演〕		
会社名	講師(敬称略)	演題
マーケットコンサルタント	本間 理恵子	イマドキの買い物 イマドキの暮らし
イーレックス株式会社 営業部 次長	境野 春彦	自由化の中でーROAD TO ORIGINー 原点への道

改訂容器流出防止指針、台風被害を受け実施徹底へ

経済産業省・産業構造審議会の保安・消費生活用製品安全分科会におかれている高圧ガス小委員会の第15回会合が10月31日に開かれ、経産省から「2019年15・19号台風にかかる対応」（高圧ガス充填所等からの容器流出）として、業界自主基準のさらなる見直しの検討と周知徹底を関係団体にすでに指導したことが報告されました。これを受

け、12月6日に開かれる同小委では、「今回は対策実施が不徹底な中で発生した」（指針見直しは不要）と見て、①実施期限を設けて確実な実施を求める、②実施状況を改めて調査する一こととなる見通しです。

■見直し指導の背景

●業界のLPガス容器流出防止自主基準である日本LPガス団体協議会「容器置場における容器転落・転倒及び流出防止措置指針」は、2018年7月豪雨での被害を踏まえて10月に改訂され、被害リスクに応じた流出防止策などを実施するよう求めています。

●しかし、経済産業省によれば、今回の台風襲来では「浸水により、神奈川、埼玉、宮城、福島、栃木県内の海・河川沿いにある複数の高圧ガス充填所などから、空容器を含む約600本の産業ガスやLPガスなどの高圧ガス容器が流出し、海・河川沿いに広く散乱」しました。●このため、同省ではHPやツイッターで、「触れない」など発見時の対処法を注意喚起するとともに、関係省庁局長級会議などでの注意喚起や、海上保安庁等への回収協力を要請。こうした結果、（一社）日本産業・医療ガス協会と（一社）全国LPガス協会は、関係機関の協力も得て回収を進め、10月下旬時点で560本の容器回収を終えています。

トップラナー制度、ガス温水機器は4区分に統合

経済産業省・総合資源エネルギー調査会の省エネルギー・新エネルギー分科会省エネルギー小委員会におかれているガス・石油機器判断基準ワーキンググループが10月30日に開かれ、エネルギー消費性能の向上に向けた「トップラナー制度」におけるガス温水機器と石油温水機器の区分見直しが審議され、経産省から区分の考え方と、現行17区分を4区分に整理する新区分案が示されました。

●ガス温水機器の新4区分 ①ガス瞬間湯沸器＜自然通気式＞、②同＜強制通気式＞、③ガスふろがま（給湯付きのものであって強制通気式のものの）、④ガス暖房機器（給湯付きのもの）

12月プロパン、CP440.00ドル、M278.98ドルに

12月積み込みCP（サウジアラビア輸入FOB価格）は、プロパン（P）はトンあたり440.00ドル、ブタン（B）は455.00ドルにする。と輸入元売各社に通知がありました。前月に比べPは+2.33%、+10.00ドル、Bは+2.25%、+10.00ドルの上昇。年平均価格はPが434.58ドル（前年比▲19.83%）、Bが441.67ドル（▲18.08%）となりました。

一方、米・モントベルビュー（MB）の12月適用プロパン価格（OPIS社発表）は278.98ドルで、前月に比べ+16.05%、+38.58ドルの上昇。年間平均価格は286.07ドル（▲39.10%）。

★重要なお知らせ

本紙「Obbli-HEADLINE」は、2020年1月配信分より
FAX配信からメール配信に全面切り替えとなります。

お手数ですが、配信希望のメールアドレスを以下URLよりご登録ください。
※すでにメールアドレスをお知らせいただいている販売店様のご登録は不要です。

※ご不明点がございましたら、オブリ担当セールスにご連絡ください。

＜登録フォーム＞

<https://obbli.info/obbli/>

※パソコンおよびスマートフォンからご登録ください。

